



選手たちに、応援メッセージの寄せ書きなどを贈呈

妹背牛町応援大使 フォルティウス

妹背牛町応援大使の女子カーリングチーム「フォルティウス」を応援するため、滝本昇司町長らが1月21日、札幌市のどうぎんカーリングスタジアムを訪れ、選手たちを激励しました。

当日は、廣田毅町議会議長と北口信彦副町長も同行し、妹背牛産米60キロと、妹背牛町カーリングホール利用者の皆さんによる応援メッセージを寄せ書きにして贈呈。滝本町長らが地元のカーリング熱を盛り上げている選手たちに対し、エールを送りました。



北いぶき農協妹背牛支所、妹背牛温泉ペペル、カーリングホールにチームの応援メッセージ

町を挙げて応援 冬季五輪出場



役場庁舎に掲げられた懸垂幕

カーリング女子日本代表のフォルティウスが出場したミラノ・コルティナ冬季オリンピックの開催に合わせ、妹背牛町は選手たちの活躍をたたえる懸垂幕を町役場庁舎に掲げました。

縦約4メートルの懸垂幕には、スキップの吉村紗也香選手ら5人の名前と祝福の言葉が記され、来庁者の目を引いています。

また、1次リーグ初戦のスウェーデン戦から順次、町カーリングホールでパブリックビューイングが開催され、多くの町民が温かい声援を送り、応援大使の活躍を見守りました。



町民が温かい声援を送ったパブリックビューイングの会場